



はじめに

基本操作

テレビ

ビデオ

TVモニター設定

音の調整

その他の機能

付録

取扱説明書

8.0型ワイド液晶TVバック

TV-W8

リモコンタイプ

carrozzeria

安全のために必ずお守りください

絵表示について

取扱説明書、取付説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。



注意

この表示の欄は、「人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



注意

このような絵表示は、注意(警告を含む)しなければならない内容です。



禁止

このような絵表示は、禁止(やってはいけないこと)の内容です。



必ず行う

このような絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。

安全上のご注意

(別冊の「安全上のご注意」もお読みください)

警告

[使用方法]

運転中に操作をしない



禁止

画面を長く見る必要がある複雑な機能は、自動車の運転中に操作をしないでください。前方不注意となり交通事故の原因となります。操作は、必ず安全な場所に車を停車させて行ってください。また運転中、画面を注視する時間は必要最低限としてください。

走行中にテレビやビデオを見ない



禁止

運転者がテレビやビデオを見る時は、必ず安全な場所に車を停車させてください。走行中にテレビやビデオを見ると前方不注意となり交通事故の原因となります。

[異常時の処置]

故障のまま使用しない



禁止

画面が映らない、音が出ないなどの故障の状態で使用しないでください。必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

異常のまま使用しない



禁止

万一、煙が出る・変なにおいがする・内部に異物が入った・水がかかったなど異常が起きましたら、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

ヒューズは規定容量のヒューズを使用する



必ず行う

ヒューズを交換するときは、必ず表示された規定容量のヒューズをご使用ください。規定容量以上のヒューズを使用すると、火災の原因となります。

本書の見かた

本書の表記のしかた

表記	意味
ご注意	注意マーク 操作を行う状況においての注意していただきたいことや、本製品の性能を維持するうえで注意していただきたいことについて説明しています。
メモ	メモマーク 操作する上で注意すべきことやヒント、便利な使いかたなどについて説明します。
[]	リモコンや本体などについているボタンを表します。 例：CD再生中に [AUDIO MENU] を押す
斜体	参照していただきたい本文タイトルやページ、または他の説明書を導きます。 例：接続のしかたは、『取付説明書』を参照してください。
つづく→	続きマーク 右ページにおいて、操作手順が次ページに続く場合を表します。

メモ
本書で使っている画面例は、実際の画面と異なることがあります。
実際の製品の画面は、性能・機能改善のため、予告なく変更することがあります。

目次

安全のために必ずお守りください	2
安全上のご注意	3
本書の見かた	4

はじめに

ご使用前に知っておいて いただきたいこと	6
システムによる操作の違いに ついて	7
各部の名称とおもな働き	8
リモコンの電池の入れかた	11
電源の入れかた、切りかた	12

基本操作

ソースを切り替える	13
ソースの映像を見る	13
ソースをOFFにする	13
メニューを表示させる	14

テレビ

テレビの見かた	15
記憶されたチャンネルの呼び出しかた (プリセットチューニング)	16
プリセットの種類を選ぶ	16
プリセットチャンネルを 順に呼び出す	17
チャンネルリストから呼び出す	17
テレビ受信に関する設定	19
「TV」(「FUNCTION」) メニューを開く	19
受信状態の良いチャンネルを自動 的に記憶させる(BSSM)	19
手動でチャンネルを記憶させる (マニュアルプリセット)	20
音声多重放送の副音声を聞く	22

ビデオ

ビデオを見る	23
ビデオを見られるように 設定する	23
ビデオの見かた	24

TVモニター設定

TVモニターの設定	25
ディスプレイ設定を変更する	25
画質を調整する	26
画面の表示モードを切り替える	29

音の調整

音を調整する	33
音量を調整する	33
内蔵スピーカーの音声を ON/OFFする	33
消音レベルを設定する	34
音声をFM付きカーステレオで聞く	35
FMトランスミッターのレベルを 設定する	36

その他の機能

その他の機能	37
バックカメラを組み合わせる	37
リアモニターを組み合わせる	38
TVモニターの正しい使いかた	39
本機のリセットのしかた	40

付録

故障かなと思ったら	41
共通項目	41
モニター	43
テレビ	44
保証書とアフターサービス	45
仕様	46
索引	48
メニュー索引	48

ご使用前に知っておいていただきたいこと

安全走行のために

本機では、パーキングブレーキのON/OFFを検知しており、走行中にテレビやビデオなどの映像を見ることができないようになっています。また、走行中はTVモニターの一部のメニュー操作はできません。(走行中は、以下のようなメッセージが表示されます。)安全な場所に停車してパーキングブレーキをかけ、メッセージが消えてから、操作してください。

(例) テレビを見ようとしたとき



メモ

本機を単体でご使用のときは、「ATTENTION」と表示されます。

画面が見えにくいときは

液晶画面は、その構造上きれいに見える角度が限られています。初めてお使いになるときは、画面がきれいに見えるように、見る角度に合わせて黒の濃さを調整してください。また、液晶画面自体の明るさも変更できますので、お好みに応じて調整してください。

「黒の濃さやコントラストを調整する」(26P)、「液晶画面の明るさを調整する」(28P)を参照してください。

バッテリー上がりを防ぐために

本機をお使いになるときは、かならず車のエンジンをかけてください。エンジンがかかっていないときに本機を使用すると、バッテリーが消耗します。

携帯電話をお使いになるときのご注意

携帯電話をお使いになるときは、携帯電話のアンテナをTVモニターに近づけないでください。画面に斑点や色模様などのノイズが出たり、映像が乱れたりすることがあります。

TVモニターの液晶画面を保護するために

本機を使用していないときは、TVモニターに直射日光が当たらないようにしてください。高温のために液晶画面が故障する恐れがあります。

「TVモニターの正しい使いかた」(39P)を参照してください。

システムによる操作の違いについて

本機をHDDナビゲーションサーバーと組み合わせて使う場合と単体で使う場合とでは、操作の方法が一部異なります。本書では、文頭に以下のマークを配置して、それぞれの操作を併記しています。

NAVI

本機を下記のHDDナビゲーションサーバーと組み合わせて使う場合は、このマークのついた説明文をお読みください。

- AVIC-H9
- AVIC-H99
- AVIC-H09
- AVIC-H07

TV

本機を単体で使う場合は、このマークのついた説明文をお読みください。

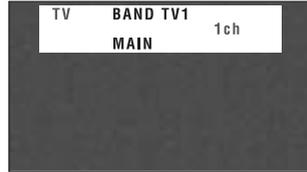
本書では、HDDナビゲーションサーバーAVIC-H9を組み合わせた場合を例に説明します。上記のHDDナビゲーションサーバーを組み合わせていない場合、一部の操作については **TV** の説明をお読みください。

HDDナビゲーションサーバーを組み合わせたお客さまへ

本機のいくつかの機能は、ナビゲーションに付属のリモコンでも操作することができます。ナビゲーションのリモコンで本機を操作する場合は、必ずリモコン設定スイッチの位置をご確認ください。設定を間違えると正しく動作しません。

ナビゲーションの取扱説明書『スタートブック』を参照してください。

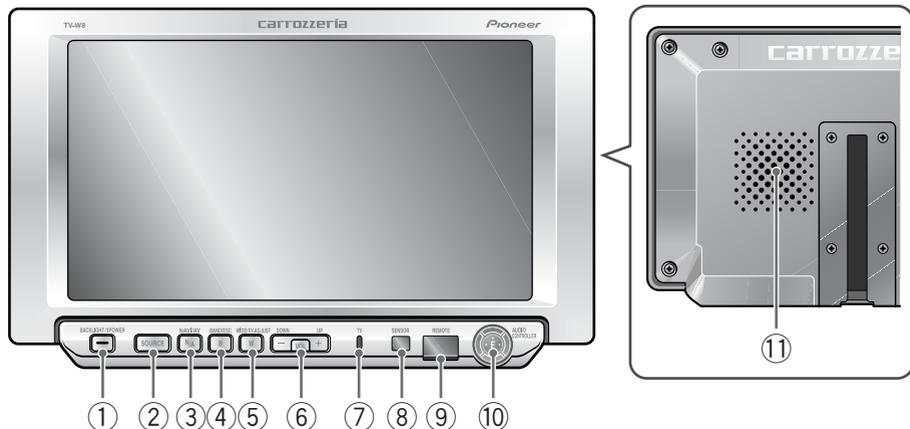
本機を単体で使うお客さまへ
本書では、HDDナビゲーションサーバーと組み合わせた場合の画面を使用して説明します。本機を単体でご使用の場合は、次のような画面が表示されます。



メニューについては、「メニュー索引」(48P)を参照してください。

各部の名称とおもな働き

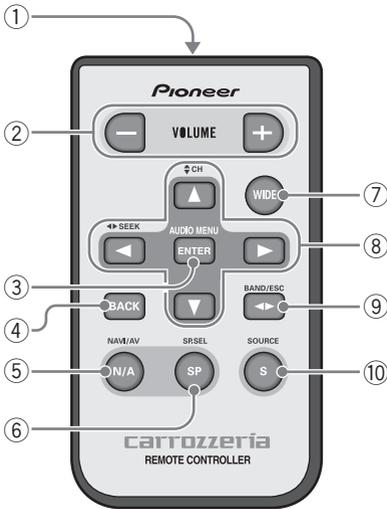
TVモニター



各部の名称とおもな働き

- ① BACK LIGHT/POWERボタン
(12ページ)
TVモニターの電源をON/OFFしたり、バックライトをON/OFFします。
- ② SOURCEボタン (13ページ)
ソース (音源・映像) を切り替えたり、ソースをOFFにします。
- ③ NAVI/AVボタン (13ページ)
NAVI
ナビゲーション画面とソース画面を切り替えるときに使用します。
TV
使用しません。
- ④ BAND/ESCAPEボタン
(15ページ)
バンドを切り替えたり、「オーディオメニュー」画面や「画質調整メニュー」メニューが表示されているときに押すと、メニューは閉じます。
- ⑤ WIDE/V.ADJUSTボタン
(26ページ)
TVモニターのワイドモードを切り替えたり、「画質調整メニュー」を表示します。
- ⑥ VOLUMEボタン (33ページ)
内蔵スピーカーの音量を調整します。
[VOL (+側)] 音量を大きくするとき
[VOL (-側)] 音量を小さくするとき
- ⑦ TVランプ
本機の電源が入っているときに点灯します。
- ⑧ 外光センサー (26ページ)
周囲の明るさを感知します。
- ⑨ リモコン受光部
リモコンからの信号を受信します。
- ⑩ AUDIOコントローラー/ENTERボタン (14ページ)
「オーディオメニュー」の操作や選曲、選局などに使用します。
- ⑪ 内蔵スピーカー

リモコン



- ⑦ WIDEボタン (30ページ)
ワイドモードを切り替えます。
- ⑧ ▲ボタン/▼ボタン/◀ボタン/
▶ボタン (14ページ)
TVチャンネルの選局や、項目の選択に使用します。
- ⑨ BAND/ESCAPEボタン
(15ページ)
バンドを切り替えたり、「オーディオメニュー」画面や「画質調整メニュー」が表示されているときに押すと、メニューは閉じます。
- ⑩ SOURCEボタン (13ページ)
ソース (音源・映像) を切り替えたり、ソースをOFFにします。

- ① リモコン送信部
ここからリモコンの信号が送られます。
- ② VOLUMEボタン (33ページ)
内蔵スピーカーの音量を調整します。
[+側]音量を大きくするとき
[-側]音量を小さくするとき
- ③ AUDIO MENUボタン
(14ページ)
「オーディオメニュー」を表示したり、項目を決定するときに使用します。
- ④ BACKボタン (14ページ)
「オーディオメニュー」画面で、前の画面に戻るときに使用します。
- ⑤ NAVI/AVボタン (13ページ)
NAVI
ナビゲーション画面とソース画面を切り替えるときに使用します。
TV
使用しません。
- ⑥ SP.SELボタン (33ページ)
内蔵スピーカーから出力されるソースの音声をON/OFFします。

操作ボタン対応表

本書では、ナビゲーション本体に付属するリモコンと、本機のモニターおよび付属のリモコンに共通するボタンを、以下のように表記します。

リモコンのボタン	モニターのボタン	ナビゲーション本体に付属のリモコンNAVI	本書での表記
VOLUMEボタン	VOLUMEボタン	VOLUMEつまみ	[VOLUME]
WIDEボタン ¹	WIDE/V.ADJUSTボタン	-	[WIDE]
NAVI/AVボタン	NAVI/AVボタン	NAVI/AVボタン	[NAVI/AV] ²
SOURCEボタン	SOURCEボタン	SOURCEボタン	[SOURCE]
▲ボタン	AUDIOコントローラー /ENTERボタンを上倒す	▲ボタン	[▲]
▼ボタン	AUDIOコントローラー /ENTERボタンを下倒す	▼ボタン	[▼]
◀ボタン	AUDIOコントローラー /ENTERボタンを左倒す	◀ボタン	[◀]
▶ボタン	AUDIOコントローラー /ENTERボタンを右倒す	▶ボタン	[▶]
AUDIO MENUボタン	AUDIOコントローラー /ENTERボタンを押す	AUDIO MENUボタン	[AUDIO MENU]
BACKボタン	3	BACKボタン	[BACK]
BAND/ESCAPEボタン	BAND/ESCAPEボタン	BAND/ESCAPEボタン	[BAND/ESC]
SP.SELボタン	-	VOLUMEつまみ	[SP]

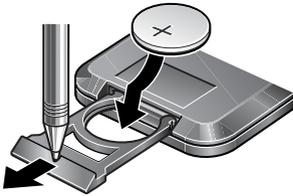
1 リモコンのWIDEボタンでは、「画面調整メニュー」は表示されません。

2 AVIC-H09/H07はV.CHANGEボタンです。

3 WIDE/V.ADJUSTボタンで、1つ前のメニュー画面に戻ることができます。

リモコンの電池の入れかた

リモコンを裏返して電池ホルダーを取り出し、リチウム電池（CR2025）を、+側を上にしてセットします。



メモ

リモコンからの信号が受け付けられる範囲が狭くなってきたときは、新しい電池と交換してください。

ご注意

電池の取り扱いに関するご注意

- 付属の電池は充電できません。
- リモコンを長時間使わないときは、電池を取り出してください。また、取り出した電池は、幼児の手の届かないところに保管してください。
- 電池の液漏れが起きたときは、内部に付着した液をよく拭き取ってから、新しい電池と入れ替えてください。
- 不要になった電池を破棄する場合は、各自治体の指示（条例）にしたがって処理してください。

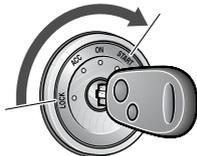
ご注意

リモコンの取り扱いに関するご注意

- リモコンを直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形、変色したり、故障する恐れがあります。使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。
- TVモニターのリモコン受光部に直射日光が当たっていると、リモコンの操作ができないことがあります。このようなときは、受光部にリモコンを近づけて操作してください。

電源の入れかた、切りかた

1 車のエンジンをかける



本機に電源が入り、ソース画面が表示されます。

NAVI

- ナビゲーション画面に切り替えるには、[NAVI/AV] を押してください。「ソースの映像を見る」(次ページ)
- 取り付け後の初めての起動では、ナビゲーションの画面が表示されるまでに数秒かかったり、途中でいったん画面が消えますが、故障ではありません。

2 TVモニターの [BACKLIGHT/POWER] をしばらく押し続ける 本機の電源が切れます。

NAVI

本機の電源が切れると、ナビゲーションの音声案内は出力されません。

メモ

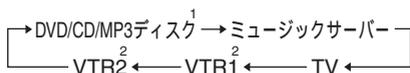
車のエンジンがかかっている状態でTVモニターの電源をONにするには、[BACKLIGHT/POWER] を押してください。

ソースを切り替える

ソースを切り替えると、各ソースの状態が表示されます。この画面で、現在受信中のチャンネルなどを確認することができます。

- 1** [SOURCE] を押して、ソースを切り替える
- [SOURCE] を押すごとに、以下のように切り替わります。

NAVI



TV



- 1 DVDはAVIC-H9/H99/H09と組み合わせた場合です。
 - DVD/CD/MP3のディスクが挿入されていない場合は、「ディスクが入っていません。」と表示されます。
 - MP3ディスクは、AVIC-H9/H99、またはAVIC-H09/H07を「HDDナビゲーションマップVol.2」以降にバージョンアップしたナビゲーションと組み合わせた場合です。
- 2 VTR1、VTR2に切り替えるには、ビデオを見られるように設定する必要があります。

「ビデオを見られるように設定する」(23P)

メモ

ナビゲーション画面のときは、[SOURCE] を押すと音声だけが切り替わります。選んだソースの映像を見るには、[NAVI/AV] を押してソース画面に切り替えてください。

「ソースの映像を見る」(次項)

ソースの映像を見る(**NAVI**)

ナビゲーション画面のときにソース画面(テレビ、ビデオ、DVD、CD、MP3ディスク、ミュージックサーバー)を表示させるには、以下のようになります。

- 1** [NAVI/AV] を押す
- [NAVI/AV] を押すごとに、ナビゲーション画面とソース画面が切り替わります。

メモ

ソース画面は、[SOURCE] を押し選ばれているソースの映像です。

ソースをOFFにする

- 1** [SOURCE] をしばらく押し続ける
- ソースがOFFになります。もう一度 [SOURCE] を押すと、OFFにする前のソース画面に戻ります。

NAVI

ソースをOFFにしても、ナビゲーションの音声案内は流れます。

TV

[SP] を押すと、ソースの音声のみがON/OFFします。

メニューを表示させる

1 ソースの画面で [AUDIO MENU] を押す

HDDナビゲーションサーバーと組み合わせて使用している場合 (**NAVI**) か、単体で使用している場合 (**TV**) かに応じて、以下のメニューが表示されます。

オーディオメニュー MENU (NAVI)	(TV)
TVメニュー ¹	FUNCTION メニュー ¹
システム設定 メニュー ²	SET UP メニュー ²
DVD/CD/MP3 メニュー ³	-
ミュージック サーバーメニュー ³	-

- 1 チャンネルを記憶させるなどの設定をします。「テレビ受信に関する設定」(19P)
- 2 VTR入力のON/OFFなどを設定します。「ビデオを見られるように設定する」(23P)
- 3 ナビゲーション本体の取扱説明書『オーディオブック』を参照してください。

2 [▲] [▼] を押してメニュー項目を選び、[AUDIO MENU] を押す

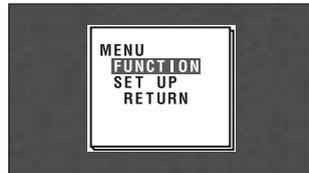
選んだ項目が実行されます。

例：TVメニュー

NAVI



TV



直前の画面に戻るには

NAVI

「メニューを閉じる」または「戻る」を選んで [AUDIO MENU] を押すか、[BACK] を押します。

TV

「RETURN」を選んで [AUDIO MENU] を押すか、[BACK] を押します。

メニューを閉じるには

[BAND/ESC] を押します。

操作が続けて行われない場合は、約30秒後に自動的に閉じます。

テレビの見かた

テレビを見るには、以下のようにします。

1

[SOURCE] を押して、「TV」に切り替える

NAVI

ナビゲーション画面で「TV」にしたときは、音声のみ切り替わります。

TV

手順3に進んでください。

2

[NAVI/AV] を押す
テレビの映像に切り替わります。



メモ

[NAVI/AV] を押すごとに、ナビゲーション画面とテレビ画面が切り替わります。

3

[BAND/ESC] を押して、バンドを選ぶ

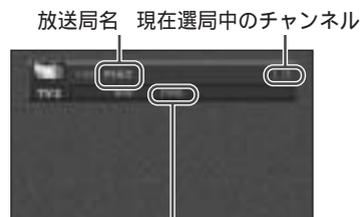


メモ

[BAND/ESC] を押すごとに、「TV1」と「TV2」が交互に切り替わります。(それぞれ12のチャンネルが用意されています。)

4

[◀] [▶] を押して、チャンネルを選局する



ステレオ表示

[◀] 前のチャンネルを選ぶとき

[▶] 次のチャンネルを選ぶとき

手動選局するには、[◀] [▶] を短めに押してください。1チャンネルずつ変化します。

自動選局するには、[◀] [▶] をしばらく押し続けて、ボタンから手を離してください。自動選局が始まります。(「SEEK」と表示されます。)

メモ

- 受信できるチャンネルは、1ch ~ 62chです。
- ステレオ放送を受信すると「STEREO」が表示され、音声多重放送を受信すると「BILINGUAL」が表示されます。
- 電波の弱い地域では、テレビの映像が乱れることがあります。
- トンネル内や山かげ、ビルの谷間など、電波がさえぎられやすい場所では、テレビの映りが悪くなる場合があります。
- 走行中にテレビの映像を見ることや一部の「オーディオメニュー」を開くことはできません。ただし、チャンネルの選局、および音声を聞くことはできます。
- 「TV1」、「TV2」にそれぞれ12局(合計24局)までチャンネルを記憶させることができます。

「受信状態の良いチャンネルを自動的に記憶させる」(19P) 「手動でチャンネルを記憶させる」(20P)

記憶されたチャンネルの呼び出ししかた

あらかじめ記憶されているチャンネルを呼び出すことができます（プリセットチューニング）。

プリセットチューニングには、次の2つの方法があります。

- TVプリセットから呼び出す
- エリアプリセットから呼び出す

メモ

本機には「TV1」と「TV2」の2つのバンドがあり、各バンドでTVプリセットとエリアプリセットを選ぶことができます。

便利な使いかた

ふだんお使いになっている地域のチャンネルは「TV1」にTVプリセットで記憶させておきます。旅行などで受信チャンネルの異なる地域に移動したときに、「TV2」にエリアプリセットで記憶させます。ふだんお使いになっているチャンネルは「TV1」に残ったままです。

TVプリセットチャンネル

次のいずれかの方法で記憶させたチャンネルのことです。

- BSSM 「受信状態の良いチャンネルを自動的に記憶させる」(19P)
- マニュアルプリセット 「手動でチャンネルを記憶させる」(20P)

NAVI

エリアプリセットチャンネル

ナビゲーション本体があらかじめ記憶している、エリア別のチャンネルのことです。自車位置に応じたリストが自動的に選ばれます。旅行などで受信チャンネルの異なる地域に移動したときに使うと便利です。

メモ

エリアプリセットの収録放送局は、2002年12月時点での情報に基づいて収録されています。

TV放送局の周波数（チャンネル）変更が行われた場合には、受信できない場合や受信した放送局が表示と異なる場合があります。

プリセットの種類を選ぶ (NAVI)

プリセットの種類を選びかたを、「TV+NAVI」のマルチ画面を例に説明します。

マルチ画面については、「ディスプレイ設定を変更する」(25P)を参照してください。

1 [BAND/ESC] を押して、プリセットの種類を変更するバンドを選ぶ

2 [AUDIO MENU] - 「TV」 - [AUDIO MENU] を押す
「TV」メニューが表示されます。

3 「チャンネルリスト」を選んで [AUDIO MENU] を押す



4 [▲][▼] を押してプリセットの種類を選び、[BAND/ESC] を押す

プリセット種類
バンド

ch. LIST	1	2	3	4
	5	6	7	8
	9	10	11	12

メモ

- 「マルチ設定」の設定 (25P)
によって、表示や操作のしかたが
次のように異なります。

マルチ設定	プリセット種類		手順4で使用 するボタン
	TV	エリア	
「TV+NAVI」	TV-1、	AREA	[▲][▼]
「TV」	TV-2		
「OFF」	TV1、 TV2	TV1-AREA、 TV2-AREA	[◀][▶]

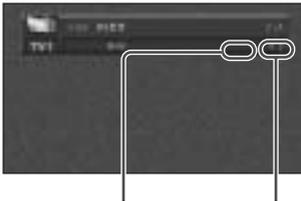
- 「マルチ設定」が「TV+NAVI」、
「TV」に設定されているとき、プ
リセットの種類を変更すると、マ
ルチ画面が更新されます。
- エリアプリセットは、BSSM/マ
ニュアルプリセットでチャンネル
を記憶させると解除されます。

プリセットチャンネルを順 に呼び出す

TVプリセットまたはエリアプリセッ
トから1局ずつ順番に呼び出すこ
とによって、チャンネルを選択します。

1 [BAND/ESC] を押して、バン
ドを選ぶ

2 [▲][▼] を押して、チャン
ネルを呼び出す



エリアプリセッ
トの場合は「AREA-
PRESET」

プリセッ
トチャンネル
(エリアプリセッ
トでは表示され
ません)

[▲] 次のプリセットチャンネル
を呼び出すとき

[▼] 前のプリセットチャンネル
を呼び出すとき

チャンネルリストから呼び 出す (NAVI)

TVプリセットまたはエリアプリセッ
トのチャンネルリストから任意の局
を呼び出すことによって、チャン
ネルを選択します。「マルチ設定」の設
定 (25P) に応じて、以下の説明
をお読みください。

- 「TV+NAVI」または「TV」のとき
「マルチ画面の場合」(次項)
- 「OFF」のとき 「リスト画面の場合」
(次ページ)

マルチ画面の場合

「TV+NAVI」のマルチ画面を例に説明し
ます。

マルチ画面については、「ディスプレイ設定
を変更する」(25P) を参照してください。

メモ

マルチ画面表示中は、自動で元の画面には戻
りません。

1 プリセットの種類を選ぶ
前ページ

プリセット種類			
バンド			
ch, L	ST (TV1)	TV-1	P, ch
1	2	3	4
5	6	7	8
9	10	11	12

つづく→

2 [◀][▶]を押して、見たいチャンネルを選ぶ
緑色の枠がマルチ画面を移動し、どのチャンネルが選ばれているかを確認できます。

3 [AUDIO MENU]を押す
選択が確定し、枠の色が青に変わります。

メモ

- 枠の色が青でも、[◀][▶]を押してチャンネルを選択できます。
- チャンネルを呼び出しても、環境や電波状況によっては受信できないことがあります。

4 ナビゲーションのリモコンの [DISP]を押す
「TV」メニューから抜けます。

メモ

[BAND/ESC]を押して、「TV」メニューから抜けることもできます。

リスト画面の場合

1 プリセットの種類を選ぶ 16P
プリセット種類



2 [▲][▼]を押して、見たいチャンネルを選ぶ

3 [AUDIO MENU]を押す
選択が確定します。

メモ

チャンネルを呼び出しても、環境や電波状況によっては受信できないことがあります。

4 [BAND/ESC]を押して、「TV」メニューを閉じる

テレビ受信に関する設定

「TV」(「FUNCTION」)メニューでテレビ受信に関する設定(BSSM、マニュアルプリセット、音声多重設定)をします。

TV

本機を単体でお使いの場合は、以降の説明で()内に示される項目を選択してください。

「TV」(「FUNCTION」)メニューを開く

- 1 テレビの画面または音声のときに[AUDIO MENU]を押す
「オーディオメニュー」が表示されます。
- 2 [▲][▼](「FUNCTION」)を押して、「TV」(「FUNCTION」)にカーソルを合わせる
- 3 [AUDIO MENU]を押す
「TV」(「FUNCTION」)メニューが表示されます。



メモ

操作が続けて行われない場合は、約30秒後に元の画面に戻ります。

NAVI

ナビゲーションの音声案内中は、「オーディオメニュー」は表示できません。

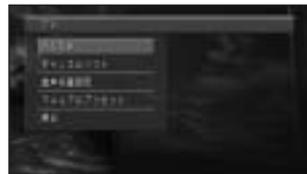
受信状態の良いチャンネルを自動的に記憶させる

バンド(「TV1」、「TV2」)ごとにそれぞれ12局(合計24局)まで、受信状態の良いチャンネルを自動的に記憶させることができます(BSSM)。

メモ

BSSMとは、Best Stations Sequential Memory(ベストステーションズシーケンシャルメモリー)の略です。

- 1 [BAND/ESC]を押して、チャンネルを記憶させるバンドを選ぶ
- 2 [AUDIO MENU] - 「TV」(「FUNCTION」) - [AUDIO MENU]を押す
「TV」(「FUNCTION」)メニューが表示されます。
- 3 「BSSM」を選んで[AUDIO MENU]を押す



BSSM実行画面が表示されます。

つづく→

「TV」メニューを開く/受信状態の良いチャンネルを自動的に記憶させる

4

[▲]を押す
BSSMが始まり、「BSSM実行中」と表示されます。



BSSMを中断するには、[▼]を押します。

終了すると、チャンネルリストが表示されます。

メモ

- 受信状態の良いチャンネルが12局より少ない場合は、前回記憶させたチャンネルが残ることがあります。
- 「マルチ設定」の設定 (25P) によって、BSSM終了後に表示される画面が異なります。
- 組み合わせたナビゲーションによっては、BSSM中は「BSSM」が点滅します。

5

[BAND/ESC]を押して、「TV」(「FUNCTION」)メニューを閉じる

チャンネルの呼び出しかたについては、「記憶されたチャンネルの呼び出しかた」(16P)を参照してください。

手動でチャンネルを記憶させる

バンド(「TV1」,「TV2」)ごとにそれぞれ12局(合計24局)まで、手動でチャンネルを記憶させることができます(マニュアルプリセット)。

NAVI

「マルチ設定」の設定 (25P) に応じて、以下の説明をお読みください。

- 「TV+NAVI」または「TV」のとき
「マルチ画面の場合」(次項)
- 「OFF」のとき 「リスト画面の場合」
(次ページ)

マルチ画面の場合 (NAVI)

「TV+NAVI」のマルチ画面を例に説明します。

マルチ画面については、「ディスプレイ設定を変更する」(25P)を参照してください。

メモ

マルチ画面表示中は、自動で元の画面には戻りません。

1

[BAND/ESC]を押して、チャンネルを記憶させるバンドを選ぶ

2

[AUDIO MENU] - 「TV」 - [AUDIO MENU]を押す
「TV」メニューが表示されます。

3

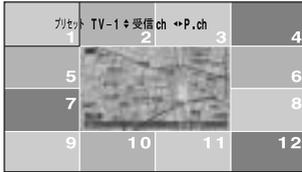
「マニュアルプリセット」を選んで [AUDIO MENU]を押す



メモ

エリアプリセットの場合はメッセージが表示され、TVプリセットに切り替わります。

- 4** [◀][▶]を押して、記憶させたいプリセットチャンネルを選ぶ



緑色の枠がマルチ画面を移動し、どのプリセットチャンネルが選ばれているかを確認できます。

「TV」の場合

上段 P1、P2、P3、P4

中段 P5、P6、P7、P8

下段 P9、P10、P11、P12

「TV+NAVI」の場合

上段 P1、P2、P3、P4

中上段 P5、P6

中下段 P7、P8

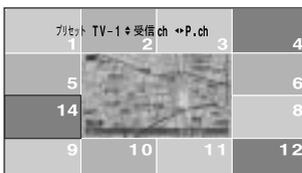
下段 P9、P10、P11、P12

- 5** [] []を押して、選局する
[▲] 次のチャンネルを選ぶとき
[▼] 前のチャンネルを選ぶとき

メモ

[▲][▼]をしばらく押し続けると、受信できる放送局を自動的に探します。

- 6** [AUDIO MENU]を押す
チャンネルが記憶され、枠の色が赤に変わります。



メモ

プリセットの操作を続けるときは、手順4～6を繰り返してください。

- 7** [BAND/ESC]を押して、「TV」メニューを閉じる
チャンネルの呼び出しかたについては、「記憶されたチャンネルの呼び出しかた」(16P)を参照してください。

リスト画面の場合

- 1** [BAND/ESC]を押して、チャンネルを記憶させるバンドを選ぶ

- 2** [AUDIO MENU] - 「TV」(「FUNCTION」) - [AUDIO MENU]を押す
「TV」メニューが表示されます。

- 3** 「マニュアルプリセット」(「MANUAL PRESET」)を選んで[AUDIO MENU]を押す



- 4** [▲][▼]を押して、記憶させたいプリセットチャンネルを選ぶ



- 5** [◀][▶]を押して、選局する
[▶] 次のチャンネルを選ぶとき
[◀] 前のチャンネルを選ぶとき

メモ

[◀][▶]をしばらく押し続けると、受信できる放送局を自動的に探します。

つづく→

手でチャンネルを記憶させる

- 6** [AUDIO MENU] を押す
チャンネルが記憶されます。



メモ

プリセットの操作を続けるときは、手順4～6を繰り返してください。

NAVI

エリアプリセットの場合はメッセージが表示され、TVプリセットに切り替わります。

- 7** [BAND/ESC] を押して、「TV」
（「FUNCTION」）メニューを閉じる

チャンネルの呼び出しかたについては、「記憶されたチャンネルの呼び出しかた」（16P）を参照してください。

音声多重放送の副音声を聞く

音声多重放送（2か国語放送など）を受信しているときは、主音声と副音声を切り替えることができます。

メモ

音声多重放送には、番組の内容によって次のような種類があります。

主音声	副音声
日本語	外国語
外国語	日本語
日本語	日本語による解説

- 1** [AUDIO MENU] - 「TV」
（「FUNCTION」） - [AUDIO
MENU] を押す
「TV」メニューが表示されます。

- 2** 「音声多重設定」（「MPX」）を選
んで [AUDIO MENU] を押す

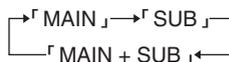


音声の切り替え画面が表示されます。

- 3** [◀] [▶] を押して、聞きたい
音声を選ぶ



[◀] [▶] を押すごとに、以下のよう
に切り替わります。



「MAIN」 主音声

「SUB」 副音声

「MAIN + SUB」 主音声 + 副音声

- 4** [BAND/ESC] を押して、「TV」
（「FUNCTION」）メニューを閉
じる

ビデオを見る

VTR1、VTR2に接続したポータブルビデオなどを見ることができます。

ビデオを見られるように設定する

接続したポータブルビデオなどを見られるように設定します。

メモ

初期設定では、「VTR1」、「VTR2」ともにOFFに設定されています。

TV

本機を単体でお使いの場合は、以降の説明で()内に示される項目を選択してください。

1 ソースの画面で [AUDIO MENU] を押す
「オーディオメニュー」(「MENU」)が表示されます。

2 「システム設定」(「SET UP」)を選んで [AUDIO MENU] を押す

3 「AV入力設定」(「INPUT SETTING」)を選んで [AUDIO MENU] を押す



AV入力設定画面が表示されます。

4 [▲][▼]を押して、設定する項目にカーソルを合わせる



5 [▶]を押して、VTRを「ON」にする



「OFF」にするには[◀]を押します。

「ON」ビデオの映像や音声に切り替わる

「OFF」ビデオの映像や音声に切り替わらない

6 [BAND/ESC] を押して、「オーディオメニュー」(「MENU」)を閉じる

NAVI

AVIC-H9/H99またはAVIC-H09/H07を「HDDナビゲーションマップ Vol.2」以降にバージョンアップしたナビゲーションと組み合わせている場合、VTR1で「Back Camera」を選ぶことができます。「Back Camera」は、VTR1にバックカメラを接続したときに選択します。

「バックカメラを組み合わせる」(37P)

ビデオの見かた

ビデオ映像を見るには、次のようにします。

- 1 [SOURCE]を押して、「VTR1」または「VTR2」に切り替える



メモ

「AV入力設定」(「INPUT SETTING」)でVTR1、VTR2が「OFF」になっているときは、VTR1、VTR2に切り替わりません。

NAVI

- 「AV入力設定」を「Back Camera」に設定していると、VTR1には切り替わりません。
- ナビゲーション画面のときに、ソースを「VTR1」または「VTR2」にすると、音声のみ切り替わります。
- ナビゲーション画面からビデオに切り替えるには、[NAVI/AV]を押します。

TVモニターの設定

ディスプレイ設定を変更する ([NAVI])

マルチ画面やピクチャーサイドピクチャーなどで、画面の分割表示に関する設定を変更することができます。AVIC-H9/H99またはAVIC-H09/H07を「HDDナビゲーションマップVol.2」以降にバージョンアップしたナビゲーション本体と組み合わせている場合のみ可能です。

1 各ソースの画面で [AUDIO MENU] を押す
「オーディオメニュー」が表示されます。

2 「システム設定」を選んで [AUDIO MENU] を押す



3 「ディスプレイ設定」を選んで [AUDIO MENU] を押す



4 [▲][▼]を押して、変更する項目にカーソルを合わせる

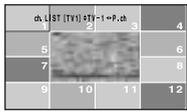
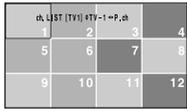
PinPの現在の設定内容で子画面 (灰色) が表示されます。



5 [◀][▶]を押して、設定を変更する

「マルチ設定」

チャンネルリストの表示方法を設定します。

設定値	「TV+NAVI」	中央にナビゲーション画面、周囲にテレビのマルチ画面が表示されます。 
	「TV」	テレビのマルチ画面が表示されます。 
	「OFF」	マルチ画面は表示されず、リストで表示されます。

ディスプレイ設定を変更する

つづく➡

「PsideP設定」
画面を左右2分割して、ナビゲーション画面とソース画面を同時に表示できるように設定します。

設定値	「ON」 (初期値)	ピクチャーサイドピクチャー表示をします。
	「OFF」	ピクチャーサイドピクチャー表示をしません。

「PinP設定」
ナビゲーション画面の中に子画面を表示できるように設定します。(ナビゲーション画面は子画面にできません。)

設定値	「ON」 (初期値)	ピクチャーインピクチャー表示をします。
	「OFF」	ピクチャーインピクチャー表示をしません。

「PinPサイズ設定」
[PinP設定]が「ON」のとき、映像(DVD、ビデオ、テレビ)の子画面の大きさを設定します。音声のみのソース(CD、ミュージックサーバーなど)は「1/16」に固定です。

設定値	「1/4」	1/4の大きさで表示します。
	「1/9」 (初期値)	1/9の大きさで表示します。
	「1/16」	1/16の大きさで表示します。

「PinPポジション設定」
[PinP設定]が「ON」のとき、子画面を表示する位置を設定します。

設定値	右上 (初期値)	右上に表示します。
	右下	右下に表示します。
	左下	左下に表示します。
	左上	左上に表示します。

6 [BAND/ESC] を押して、「オーディオメニュー」を閉じる

画質を調整する

黒の濃さやコントラストを調整する
映像の黒の濃さ、明暗(コントラスト)を調整します。

メモ

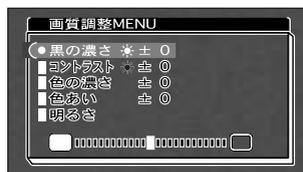
- 周囲が明るいとき(昼間 ☀ 黄)と暗いとき(夜間 🌙 青)の調整値を個別に記憶させることができます。
- 外光センサーで周囲の明るさを感じし、明るいときと暗いときの設定を自動的に切り替えます。
- テレビ、ビデオなどの映像ごとに、調整値を記憶させることができます。

NAVI

- ナビゲーションやDVDの映像ごとに、調整値を記憶させることができます。
- バックカメラはVTR1の設定として記憶されます。
- ピクチャーサイドピクチャーとピクチャーインピクチャーの画質は、ナビゲーション画面の設定が反映されます。
- マルチ画面はテレビの設定が反映されます。

1 調整したい映像の表示画面で、TVモニターの [WIDE] をしばらく押し続ける
「画質調整メニュー」が表示されます。メニュー操作が続いて行われない場合は、約30秒後に元の画面に戻ります。

2 「黒の濃さ」または「コントラスト」を選ぶ



[▲] 上の項目を選ぶとき

[▼] 下の項目を選ぶとき

3 [◀][▶]を押して、黒の濃さ またはコントラストを調整する



TVモニター上部の外光センサーが、周囲の明るさを感じし、現在の明るさを示すマークが画面に表示されます。

☾ (青) : 暗いとき (夜間)

☀ (黄) : 明るいとき (昼間)

ボタン 黒の濃さ コントラスト

[◀] 薄くなる 白黒の差が小さくなる (暗くなる)

[▶] 濃くなる 白黒の差が大きくなる (明るくなる)

メモ

- 24 ~ + 24 の範囲で設定が可能です。

4 [BAND/ESC]を押して、「画 質調整メニュー」を閉じる

色の濃さや色あいを調整する
映像の色の濃さ、色あいを調整します。

メモ

テレビ、ビデオなどの映像ごとに、調整値を記憶させることができます。

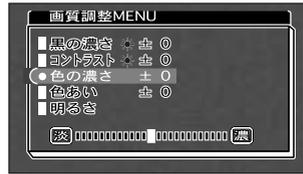
NAVI

- DVDの映像について、調整値を記憶させることができます。
- バックカメラはVTR1の設定として記憶されます。
- ナビゲーションの映像は調整できません。

1 調整したい映像の表示画面で、 TVモニターの [WIDE] をしばらく押し続ける

「画質調整メニュー」が表示されます。メニュー操作が続けて行われない場合は、約30秒後に元の画面に戻ります。

2 「色の濃さ」または「色あい」を 選ぶ



[▲] 上の項目を選ぶとき

[▼] 下の項目を選ぶとき

3 [◀][▶]を押して、色の濃さ または色あいを調整する



ボタン 色の濃さ 色あい

[◀] 薄くなる 赤が強くなる

[▶] 濃くなる 緑が強くなる

メモ

- 24 ~ + 24 の範囲で設定が可能です。

4 [BAND/ESC]を押して、「画 質調整メニュー」を閉じる

液晶画面の明るさを調整する

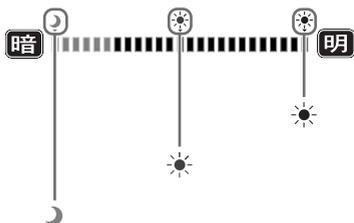
夜間、周囲が暗くなってくると、画面が明るすぎて表示されている映像が見づらくなることがあります。本機は、周囲の明るさに合わせて、液晶画面の明るさを自動的に調整します（3点式インテリジェントディマ）。その自動的に調整される明るさを設定しておくことができます。

- 調整したい映像の表示画面で、TVモニターの[WIDE]をしばらく押し続ける「画質調整メニュー」が表示されます。メニュー操作が続けて行われない場合は、約30秒後に元の画面に戻ります。

- [▼] を押して「明るさ」を選ぶ



TVモニター上部の外光センサーで周囲の明るさを感知して、現在の周囲の明るさ（外光レベル）をマークの色、形、および位置で表示します。



- ☀ (黄)：明るいとき（昼間）
- ☀ (赤)：中間の明るさのとき（夕方）
- ☾ (青)：暗いとき（夜間）

メモ

- 明るさを調整するときに基準となる外光レベルは、手順3で示すマークとその位置で表示されます。
- 黒の濃さやコントラストを調整するときのマークと異なる場合があります。

- [◀] [▶] を押して、明るさを調整する

[◀] 画面を暗くするとき

[▶] 画面を明るくするとき



レベルは調整している画面の明るさを表します。右に伸びるほど、明るくなります。

この画面では、暗いとき（☾）の画面の明るさを調整しています。

メモ

次の外光レベルごとに調整でき、それぞれの設定値を記憶させることができます。

- 暗い（☾ 青）
- 中間（☀ 赤）
- 明るい（☀ 黄）

- [BAND/ESC] を押して、「画質調整メニュー」を閉じる

メモ

- 設定は、「画質調整メニュー」を閉じるときに記憶されます。「画質調整」メニューを閉じる前に本機の電源をOFF（エンジンをOFF）にすると、設定の変更は無効になります。
- 「画質調整メニュー」を閉じた後、リセットボタンが押されたり、バッテリーが外されても、明るさの調整内容は記憶されています。
- 映像ごとに調整値を記憶させることはできません。

画面の表示モードを切り替える

2画面表示させる (NAVI)

本機の画面の表示のしかたには、次の3種類があります。

1画面	通常の画面表示
ピクチャーサイドピクチャー	画面を2分割して、ナビゲーション画面とソース画面を同時に表示する
ピクチャーインピクチャー	ナビゲーション画面の中にソース画面を小さく表示する(子画面)

画面の表示モードを切り替えるには、次のようにします。

1 ナビゲーションのリモコンの [DDM] を押す

[DDM] を押すごとに、以下のように画面表示が切り替わります。

1画面



ピクチャーサイドピクチャー



ピクチャーインピクチャー



メモ

- AVIC-H9/H99またはAVIC-H09/H07を「HDDナビゲーションマップVol.2」以降にバージョンアップしたナビゲーションと組み合わせた場合は、「PsideP」(ピクチャーサイドピクチャー)、「PinP」(ピクチャーインピクチャー)の設定を「ON」にしてください。「ディスプレイ設定を変更する」(25P)
- AVIC-H09/H07を「HDDナビゲーションマップVol.2」以降にバージョンアップしていない場合は、ピクチャーインピクチャーは表示できません。
- 2画面とも同じ画面にすることはできません。
- ソース画面どうし(テレビとDVD、DVDとビデオなど)の2画面表示はできません。
- ナビゲーション画面のとき [DDM] を押すと、現在選ばれているソースとの2画面表示になります。
- ピクチャーインピクチャーで表示される子画面は、ワイドモードの設定にかかわらず、「ノーマル」(テレビアスペクトが4:3)で表示されます。
- ピクチャーインピクチャーの子画面の位置と大きさは変更できます。「ディスプレイ設定を変更する」(25P)
- ナビゲーションの操作をしやすくするため、一時的にナビゲーション画面だけになる(1画面になる)ことがあります。
- ピクチャーサイドピクチャーまたはピクチャーインピクチャー表示中に [NAVI/AV] を押すと、ナビゲーション画面になります。
- ピクチャーインピクチャーの親画面と子画面の入れ替えはできません。

2画面表示の左右を入れ替える (NAVI)

ピクチャーサイドピクチャー表示のとき左右の画面を入れ替えるには、次のようにします。

- 1 [DDM] を長めに押す
[DDM] を押すごとに、左右の画面が入れ替わります。



ワイド画面の表示方法を切り替えるテレビ、ビデオ、DVDの映像については、通常の画面表示の他に4種類のワイドモード(次ページ)が用意されており、表示方法を切り替えることができます。

- メモ**
- 通常画面は縦横比4:3、ワイド画面は縦横比16:9です。
 - テレビ、ビデオ、DVDの映像ごとに、設定を記憶させることができます。
 - ナビゲーション画面やソースの壁紙の画像は、ワイドモードによる表示の切り替えはできません。

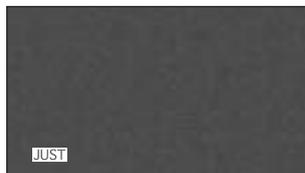
- 1 テレビ、ビデオ、DVDのいずれかの映像を表示させる

(NAVI)

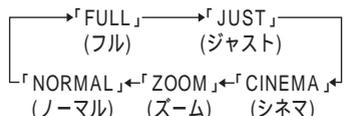
2画面表示にしているときは、1画面で表示させてください。

「2画面表示させる」(前ページ)

2 TVモニターの[WIDE]を押す



[WIDE] を押すごとに、ワイドモードが以下のように切り替わります。



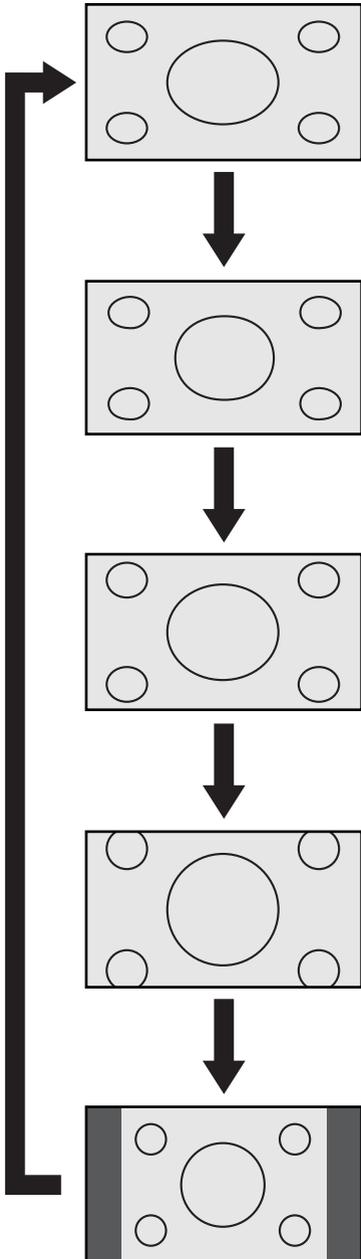
メモ

- 通常のテレビ放送の番組で、映像の縦横比が異なるモード(「フル」、「ジャスト」、「シネマ」)を選ぶと、本来の映像とは異なって見えます。
- 「シネマ」、「ズーム」では、画質が粗くなります。
- 営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、本機のワイドモード切り替え機能を利用すると(フル、ズームなどで画面の圧縮や引き伸ばしなどを行うと)著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

(NAVI)

2画面で表示しているときは、ワイドモードの切り替えはできません。

ワイドモードの種類

**フル**

4 : 3の映像の左右だけを拡大します。映像が欠けることなくワイド画面が表示されます。

ジャスト

画面の両端に近づくほど、横に伸びる比率が高くなります。画面の中央付近は通常の映像とほとんど同じ大きさで表示されるため、ワイド画面を違和感なく楽しめます。

シネマ

フルとズームの中間の比率で、上下を拡大します。字幕が映像の外の黒い部分に表示されるものに適しています。

ズーム

4 : 3の映像を上下、左右とも同じ比率で拡大します。映画など横長の映像のうち、字幕が映像の上にかぶさって表示されるものに適しています。

ノーマル

4 : 3の映像がそのまま表示されます。通常のテレビの映像と同じです。

画面を消す

音声は消さずに、画面だけを消すことができます。(モニターのバックライトをOFFにします。)

1 TVモニターの [BACKLIGHT/POWER] を押す



画面が消えます。

画面を表示させるには、もう一度 [BACKLIGHT/POWER] を押します。

メモ

画面が消えている状態で電源を入れ直しても (エンジンをかけ直しても)、画面は消えた状態のままです。

ソースプレートを表示させる

(NAVI)

ソースプレートには、現在選択されているソース名および内容 (テレビであればチャンネル、ミュージックサーバーであればトラック番号または曲名など) が表示されます。ソースプレートを表示または消去するには、以下のようにします。

1 ナビゲーションのリモコンの [DISP] を押す

ソースプレートが表示、または消去されます。



メモ

- DVDビデオ、CD、MP3ディスク、ミュージックサーバーでは [BAND/ESC] を押してソースプレートを表示させることもできます。
- ソースプレートの表示は約8秒後に自動的に消えます。

音を調整する

音量に関する次の項目について、調整または設定することができます。

- 音量
- 内蔵スピーカーの音声ON/OFF
- 消音レベルの設定
- FMトランスミッターのON/OFF
- FMトランスミッターのレベル設定

音量を調整する

- 1** 各ソースの画面で、[VOLUME] を押して音量を調整する
画面右上に音量レベルが0～30の範囲で、4秒間表示されます。



[VOL (+ 側)] 音量を大きくするとき

[VOL (- 側)] 音量を小さくするとき

NAVI

ナビゲーションのリモコンで操作する場合は、リモコンの操作モードをテレビ操作モードに切り替えてください。

内蔵スピーカーの音声をON/OFFする

車内の会話などが聞き取りにくい場合などに、一時的に音声を消すことができます。

- 1** [SP] を押す
[SP] を押すごとに、ソース音声はON/OFFします。



ご注意

音声OFF中に音量を調整しないでください。音声をONにしたときに、大音量が出力される恐れがあり危険です。

メモ

出力されているソースの音声はOFFになります。

NAVI

- ナビゲーションのリモコンの操作モードをナビゲーション操作モードまたはテレビ操作モードに切り替えてください。
- [SP]またはナビゲーション本体に付属しているリモコンのVOLUMEツマミを押しても、ナビゲーションの音声案内は消えません。

消音レベルを設定する

(NAVI)

音声案内、ハンズフリー音声、音声操作の割り込みがあった場合に、一時的にオーディオの音量を絞ったり、消したりして音声を聞き取りやすくすることができます。

メモ

- 初期値は「ATT」です。
- ナビゲーションの音声案内中は、「オーディオメニュー」は表示できません。

1 各ソースの画面で [AUDIO MENU] を押す

「オーディオメニュー」が表示されます。

2 「システム設定」を選んで [AUDIO MENU] を押す

3 「消音レベル設定」を選んで [AUDIO MENU] を押す

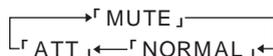


4

[◀] [▶] を押して、好みの設定を選ぶ



[◀] [▶] を押すごとに、次のように切り替わります。



「ATT」	音量が約 1 / 10 になる
「NORMAL」	音量は変わらない
「MUTE」	音声が聞こえなくなる

メモ

- ここで設定した内蔵スピーカーの消音レベルは、ナビゲーション本体のオーディオミュートの内容で適用されます。FMトランスミッターまたは外部出力には適用されません。ナビゲーション本体のオーディオミュートについては、ナビゲーション本体の『ナビゲーションブック』を参照してください。
- 「オーディオメニュー」の設定中に音声案内の割り込みがあったときは、オーディオの音量は変わりません。
- 「オーディオメニュー」の設定中にハンズフリー音声の割り込みがあったときは、「オーディオメニュー」を終了して、それぞれの操作画面に切り替わります。

5

[BAND/ESC] を押して、「オーディオメニュー」を閉じる

音声をFM付きカーステレオで聞く

テレビ、ビデオ、DVD、CDなどの音声をFM電波で送信し、FM付きカーステレオで受信することによって、カーステレオのスピーカーで聞くことができます。

メモ

初期値は、「OFF」です。

NAVI

- ナビゲーションの音声案内を聞くことはできません。
- ナビゲーションの音声案内中は、「オーディオメニュー」は表示できません。

TV

本機を単体でお使いの場合は、以下の説明で()内に示される項目を選択してください。

1 ソースの画面で [AUDIO MENU] を押す

2 「システム設定」(「SET UP」)を選んで [AUDIO MENU] を押す



3 「FMトランスミッター設定」(「FM TRANSMITTER」)を選んで [AUDIO MENU] を押す



「FMトランスミッター設定」(「FM TRANSMITTER」)画面が表示されます。

4 [▶] を押して「ON」にする



「OFF」にするには[◀]を押します。

5 [▼] を押して、「周波数」(「FREQUENCY」)にカーソルを合わせる

メモ

FMトランスミッターが「OFF」のときは、「周波数」は選択できません。

6 [◀] [▶] を押して、出力周波数を選ぶ



[◀] 周波数を下げるとき

[▶] 周波数を上げるとき

メモ

周波数は、76.4～78.4MHzの中から、0.1MHzステップで選ぶことができます。

7 [BAND/ESC] を押して、「オーディオメニュー」を閉じる

つづく→

- 8** カーステレオのソースをFMに切り替えて、手順6で選んだ周波数を受信する
本機の音声をカーステレオのスピーカーから聞けるようになります。

メモ

- 送信用アンテナの配置場所や、受信する側のラジオのアンテナによっては、ノイズが聞こえたり、受信感が低くなる場合があります。
- FM放送と混信する場合は、他の周波数を選んでください。
- FMトランスミッターの実用到達距離は、約2mです。(法律により電波の強さが規制されています。)
- FMトランスミッターを使わないときは、必ず「OFF」にしてください。

FMトランスミッターのレベルを設定する

カーステレオのスピーカーで本機の音声を聞いて、FM放送と音量が違ふと感じたときは、FMトランスミッターのレベルを調整して、FM放送の音量と合わせてください。

NAVI

ナビゲーションの音声案内中は、「オーディオメニュー」は表示できません。

TV

本機を単体でお使いの場合は、以下の説明で()内に示される項目を選択してください。

- 1** ソースの画面で [AUDIO MENU] を押す

- 2** 「システム設定」(「SET UP」)を選んで [AUDIO MENU] を押す

- 3** 「FMトランスミッター設定」(「FM TRANSMITTER」)を選んで [AUDIO MENU] を押す
「FMトランスミッター設定」(「FM TRANSMITTER」)画面が表示されます。

- 4** [▼] を押して、[レベル] (「LEVEL」) を選ぶ

メモ

FMトランスミッターが「OFF」のときは、「レベル」は選択できません。

- 5** [◀] [▶] を押して、レベルを調整する



[◀] レベルを下げるとき

[▶] レベルを上げるとき

メモ

- - 6 ~ + 6の範囲で調整できます。
- FM放送の音が大きく聞こえるときは、レベルを上げてください。
- 本機の音が大きく聞こえたり、歪みを感じたときは、レベルを下げてください。

- 6** [BAND/ESC] を押して、「オーディオメニュー」(「MENU」)を閉じる

その他の機能

バックカメラを組み合わせる (NAVI)

AVIC-H9/H99またはAVIC-H09/H07を「HDDナビゲーションマップVol.2」以降にバージョンアップしたナビゲーションと組み合わせている場合は、市販のバックカメラを接続して、車の後方の映像を画面に表示させることができます。シフトレバーを「R」(リバース)の位置にすると後方画面に切り替わります。駐車場で後退するときなどに便利です。

ご注意

シフトレバーを「R」(リバース)の位置にしたときにバックカメラ以外の映像が表示されると危険ですので、バックカメラを接続していないときは、VTR1を「Back Camera」に設定しないでください。

メモ

- バックカメラの映像は、本機のRCAビデオ入力(VTR1)に接続してください。詳しくは『取付説明書』をご覧ください。
- バックカメラの接続のしかたは、バックカメラの説明書をご覧ください。
- ナビゲーションの3Dハイブリッドセンサーの初期学習が終了していないときは、バックカメラには切り替わりません。
- ナビゲーションの起動中は、バックカメラに切り替わらないことがあります。
- バックカメラを正常に動作させるため、必ずバック信号を接続してください。バック信号の接続は、お使いのナビゲーション本体の『取付説明書』をご覧ください。

- バックカメラの映像はワイドモードの設定に関係なく、常に「フル」で表示されます。
- バックカメラの映像の画質調整値は、「VTR1」として記憶されます。

1

ソースの画面で[AUDIO MENU]を押す

「オーディオメニュー」が表示されます。

2

「システム設定」を選んで[AUDIO MENU]を押す

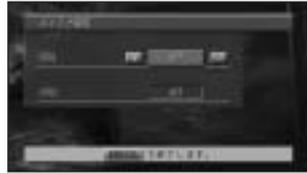


3

「AV入力設定」を選んで[AUDIO MENU]を押す

4

[▲][▼]を押して、「VTR1」にカーソルを合わせる



5

[◀][▶]を押して、「Back Camera」にする

6

[BAND/ESC]を押して、「オーディオメニュー」を閉じる

バックカメラを組み合わせる

バックカメラの映像を解除する

バックカメラの映像をナビゲーションの画像に切り替えるには、以下のようにします。

1

[NAVI/AV]を押す

ナビゲーションの画像に切り替わります。

メモ

- バックカメラの映像を再度表示させるには、シフトレバーをいったん「R」(リバース)以外の位置にしてから、「R」に入れ直してください。
- ナビゲーション起動時は、解除できません。

リアモニターを組み合わせる

RCAリアモニター出力端子に、後部座席用のモニターを接続すると、本機の画面を後部座席でも楽しむことができます。

接続のしかたは、『取付説明書』を参照してください。

リアモニターに表示される映像について

- リアモニターには、映像だけが表示されます。映像、音声、チャンネルなどの情報や、設定メニューなどは表示されません。
- リアモニターには、パーキングブレーキのON/OFFに関係なく、映像が表示されます。したがって、走行中でもテレビやビデオ、DVDなどの映像を見ることができます。

NAVI

- リアモニターには、現在選択されているソースの映像が表示されます。[NAVI/AV]を押しても、ナビゲーション画面は表示されません。
- AVIC-H07と組み合わせた場合は、[NAVI/AV]を押すと、ソース画面とナビゲーション画面が切り替わります。
- リアモニターの画面を2画面表示に切り替えることはできません。
- DVDビデオを選択している場合のみ、DVD画面専用の情報表示を見ることができます。

ご注意

リアモニターは、運転者が走行中に映像を見ることができない場所に設置してください。

メモ

リアモニターの映像出力はコンポジット信号です。接続されているモニターによっては、きれいに表示できない場合があります。

TVモニターの正しい使いかた

取り扱い上のご注意

TVモニターは次の温度範囲内でお使いください。

使用温度範囲： - 10 ~ + 50

保存温度範囲： - 20 ~ + 80

直射日光の当たる状態で長時間使用すると、高温になり、液晶画面が故障する恐れがあります。できる限りTVモニターに直射日光が当たらないようにしてください。また、本機を使用しないときは、本体にTVモニターを収納してください。

TVモニターの液晶画面は、車内での視認性向上のために露出しています。故障する恐れがありますので、液晶画面を強く押さないでください。

キズや汚れの原因になりますので、液晶画面には触らないでください。



液晶画面について

TVモニター画面の中に小さな黒い点や明るく光る点（輝点）が出ることがあります。これは液晶TVモニター特有の現象で故障ではありません。

寒いところでお使いになるときは、電源を入れた後、しばらく画面が暗いことがあります。時間が経過すると正常な明るさに戻ります。

TVモニター画面に直射日光が当たると、光が反射し画面が見づらくなりますので、直射日光をさげてください。

小型蛍光管について

液晶画面を明るくするために、TVモニター内部に小型蛍光管を使用しています。この蛍光管は消耗品であり、寿命があります。

蛍光管の寿命は約1万時間ですが、寒いところでお使いになりますと、寿命が短くなる場合があります。

蛍光管が寿命になると、画面が暗くなったり、映像が映らなくなったりします。このようなときは、お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。

お手入れについて

画面に付いたほこりやTVモニターの汚れを清掃するときは、電源を切ってから、柔らかい布でから拭きしてください。

画面を拭くときは、ツメで引っかかないように注意してください。画面にキズが付くと映像が見づらくなります。

化学ぞうきんをお使いの場合は、化学ぞうきんに添付の注意事項をよくお読みください。

ぬれたぞうきんは、使用しないでください。また、ベンジンやアルコールなどの揮発性の薬品は使用しないでください。



メモ

映像を出力するために使われる信号形式には、RGB信号とコンポジット信号の2通りがあります。

コンポジット信号は、一般のビデオデッキなどのRCA映像出力に使われる信号です。

RGB信号は、パソコンの画面表示などに使われる信号です。本機では、ナビゲーションの映像をより鮮明に表示するために、RGB信号を使用しています。

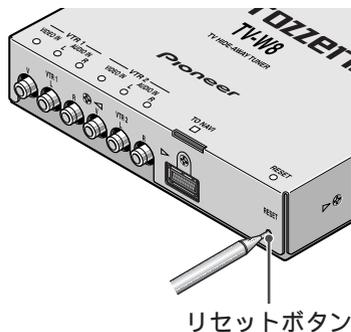
本機のリセットのしかた

次のようなときは、本機をリセットしてください。

- 接続が終わった後
 - 正しく動作しないとき
 - 画面が正しく表示されないとき
- リセットボタンを押すと、本機は初期状態に戻ります。本機の設定（プリセットチャンネルなど）が消去されますので、もう一度セットし直してください。

リセットする

- 1 ボールペンの先などで、リセットボタンを押す



リセットボタン

故障かなと思ったら

故障かな？ と思ったら

修理を依頼する前に、以下の内容をチェックしてください。

チェックしても 直らないときは

本機をリセットしてください。
「本機のリセットのしかた」(前ページ)

それでも直らないときは

「保証書とアフターサービス」(45P)をお読みにになり修理を依頼してください。

共通項目

症状	原因	処置
電源が入らない。 動作しない。	各リード線や各コネクタが正しく接続されていない。	正しく確実に接続されているかどうか、もう一度確認してください。 『取付説明書』
	ヒューズが切れている。	ヒューズが切れた原因を解決し、切れたヒューズを同じ容量のヒューズと交換してください。『取付説明書』
	ノイズなどが原因で内蔵のマイコンが誤動作している。	リセットボタンを押してください。 「本機のリセットのしかた」(40P)
リモコンで操作できない。 操作に合った正しい動作をしない。	電池の(+)と(-)の向きを逆にしている。	正しく入れてください。「リモコンの電池の入れかた」(11P)
	リモコンを、足元やシートに向けて操作している。	リモコン受光部に向けて操作してください。
	リモコン受光部に直射日光が当たっている。	リモコン受光部に近づけて操作してください。「リモコンの電池の入れかた」(11P)
音が出ない。	電池が消耗している。	新しい電池に交換してください。 「リモコンの電池の入れかた」(11P)
	接続が間違っている。	正しく確実に接続されているかどうか、もう一度確認してください。 『取付説明書』

共通項目 (つづき)

症状	原因	処置
内蔵スピーカーからテレビ、ビデオなどの音が出ない。 音が小さい。	内蔵スピーカーのソース出力がOFFに設定されている。	内蔵スピーカーから出力されるように設定してください。 「内蔵スピーカーの音声をON/OFFする」(33P)
	内蔵スピーカーの音量を下げています。	内蔵スピーカーの音量を上げてください。 「音量を調整する」(33P)
カーステレオのスピーカーから音が出ない。 音が小さい。	カーステレオの音量を下げています。	カーステレオの音量を上げてください。
	アッテネーターがONになっている。	アッテネーターを解除してください。
	FMトランスミッターの設定がOFFになっている。	設定を切り替えてください。 「音声をFM付きカーステレオで聞く」(35P)
	FM付きカーステレオの受信周波数が合っていない。	本機の送信周波数と、FM付きカーステレオの受信周波数を合わせてください。 FM付きカーステレオの説明書
映像が出ない。	パーキングブレーキコードが接続されていない。	パーキングブレーキコードを接続し、パーキングブレーキをかけてください。 『取付説明書』
	パーキングブレーキをかけていない。	
画面に何も表示されない。	TVモニターのパックライトがOFFになっている。	TVモニターのパックライトをONにしてください。 「画面を消す」(32P)
バックカメラに切り替わらない。	初期学習が終了していない。	初期学習が終了するまで、しばらく走行してください。
	バック信号が接続されていない。	正しく確実に接続されているかどうか、もう一度確認してください。 『取付説明書』
	「AV入力設定」を「Back Camera」に設定していない。	「AV入力設定」を「Back Camera」に設定してください。 「バックカメラを組み合わせる」(37P)
TVモニターにナビゲーションの映像が映らない。	TVモニターの映像が、ナビゲーションに切り替わっていない。	TVモニターの映像をナビゲーションに切り替えてください。 「ソースの映像を見る」(13P)
	ナビゲーション本体およびテレビモニターの電源が入っていない	TVモニターの電源を入れてください。 正しく確実に接続されているかどうか確認してください。 『取付説明書』

モニター

症状	原因	処置
画質調整ができない。	パーキングブレーキコードが接続されていない。	パーキングブレーキコードを接続し、パーキングブレーキをかけてください。 『取付説明書』
	パーキングブレーキをかけていない。	
映像が明るい、または暗い。	「黒の濃さ」または「コントラスト」の調整が適切でない。	「黒の濃さ」または「コントラスト」を調整してください。 「黒の濃さやコントラストを調整する」(26P)
映像の色が薄い、または濃い。	「色の濃さ」または「色あい」の調整が適切でない。	「色の濃さ」または「色あい」を調整してください。 「色の濃さや色あいを調整する」(27P)
映像の色あいがおかしい。		
液晶画面が暗い。	「明るさ」の調整が適切でない。	「明るさ」を調整してください。 「液晶画面の明るさを調整する」(28P)
	車内の温度が低い。	液晶モニターは、周囲の温度が低いと画面が暗くなることがあります。ヒーターで車内の温度を上げてください。
液晶画面の中に、小さな黒点や輝点がある。	液晶特有の現象で、故障ではありません。	-

テレビ

症状	原因	処置
テレビの映りが悪い。 “ジージー、ザーザー” という雑音が多い。	チャンネルが合っていない。	チャンネルを正しく合わせてください。 「テレビの見かた」(15P)
	放送局の電波が弱い。	他のチャンネルを選局してみてください。 「テレビの見かた」(15P)
	周囲に障害物があるなど、受信状態が良くない。	受信状態が良くなると、映りが良くなり、雑音も少なくなります。
	アンテナ線と他のケーブルを束ねたり、重ねたりしている。	アンテナ線と他のケーブルは、できるだけ離してください。『取付説明書』
自動選局できない。	強い電波の放送局がない。	手動で選局してください。 「テレビの見かた」(15P)
ソースプレートが消えない。	パーキングブレーキコードが接続されていない。	ナビゲーションと本機のパーキングブレーキコードを両方とも接続し、パーキングブレーキをかけてください。 『取付説明書』

保証書とアフターサービス

保証書

保証書は、ご購入年月日、販売店名などが記入されていることをお確かめのうえ、ご購入の際に販売店から受け取ってください。

保証書に記入もれがあったり、保証書を紛失したりすると、保証期間中でも保証が無効となります。記載内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

保証期間

この製品の保証期間は、お買い上げの日から1年間です。

保証期間中の修理について

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。所在地、電話番号は本機に付属の『ご相談窓口・修理窓口のご案内』をご覧ください。

保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、本機の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。（性能部品とは、その製品の機能を保持するために必要な部品です。）

ご質問、ご相談は

本機に関するご質問、ご相談はパイオニアカスタムサポートセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

お願い

修理をご依頼になるときは、故障の原因をより早く確実に解決するため、TVモニターおよびTVモニターと組み合わせているHDDナビゲーションサーバー本体の両方をお持ち込みください。なお、サービス対応時におきましては、お客様が保存されたデータが消えることがあります。重要な内容は紙などに控えておいてください。

仕様

TV (共通部)

使用電圧 : DC 14.4 V
(10.8 ~ 15.1 V 使用可能)

アース方式 : マイナスアース方式
最大消費電流 : 2.0 A

TVモニター

画面サイズ : 8インチワイド
(有効表示面積 :
99.5 x 175.7
mm)

画素数 : 336,960画素
(234 x 1.440)

方式 : TFTアクティブマト
リクス方式
透過型

エッジライト : 冷陰極口の字管
使用温度範囲 : - 10 ~ + 50
保存温度範囲 : - 20 ~ + 80

内蔵スピーカー : 36 mm

TVチューナー

受信チャンネル : VHF1 ~ 12 ch、
UHF13 ~ 62 ch

実用感度 : 6 dB μ (75 、モ
ノラル音声)

映像S/N : 40 dB以上
(59 dB μ 入力、
白 100%)

映像雑音制限感度 : 40 dB μ
クロストーク : 主 副 35 dB以上
副 主 40 dB以上

S/N : 60 dB (IHF-Aネッ
トワーク)

ステレオセパレーション : 30 dB (1 kHz)

外部映像入力レベル : 1 Vp-p/75

外部音声最大

入力レベル : 1V/22 k

アンテナ入力 : 4 chダイバーシティ

FMトランスミッター

使用周波数 : 76.4 ~ 78.4 MHz
(0.1 MHz間隔で可変)

TVアンテナ

出力端子 : 3.5 ミニプラグ x 4

アンテナケーブル : 7.0m

外形寸法

TVモニター : 218 (W) x 136
(H) x 29 (D) mm

TVチューナー : 179 (W) x 32 (H)
x 150 (D) mm

TVアンテナ : 30 (W) x 28 (H)
x 192 (D) mm
(収納時、アンテナ
ベース含まず)

リモコン : 52 (W) x 9 (H) x
94 (D) mm

質量

TVモニター : 538 g

TVチューナー : 928 g (コード含む)

TVアンテナ : 260 g (コード含む、
片側)

リモコン : 32 g (電池含む)

モニター取付金具 : 143 g

付属品

リモコン	： 1
リチウム電池 (CR2025)	： 1
コード類	： 1式
取付キット	： 1式
取扱説明書	： 1
取付説明書	： 1
安全上のご注意	： 1
保証書	： 1
ご相談窓口・修理 窓口のご案内	： 1

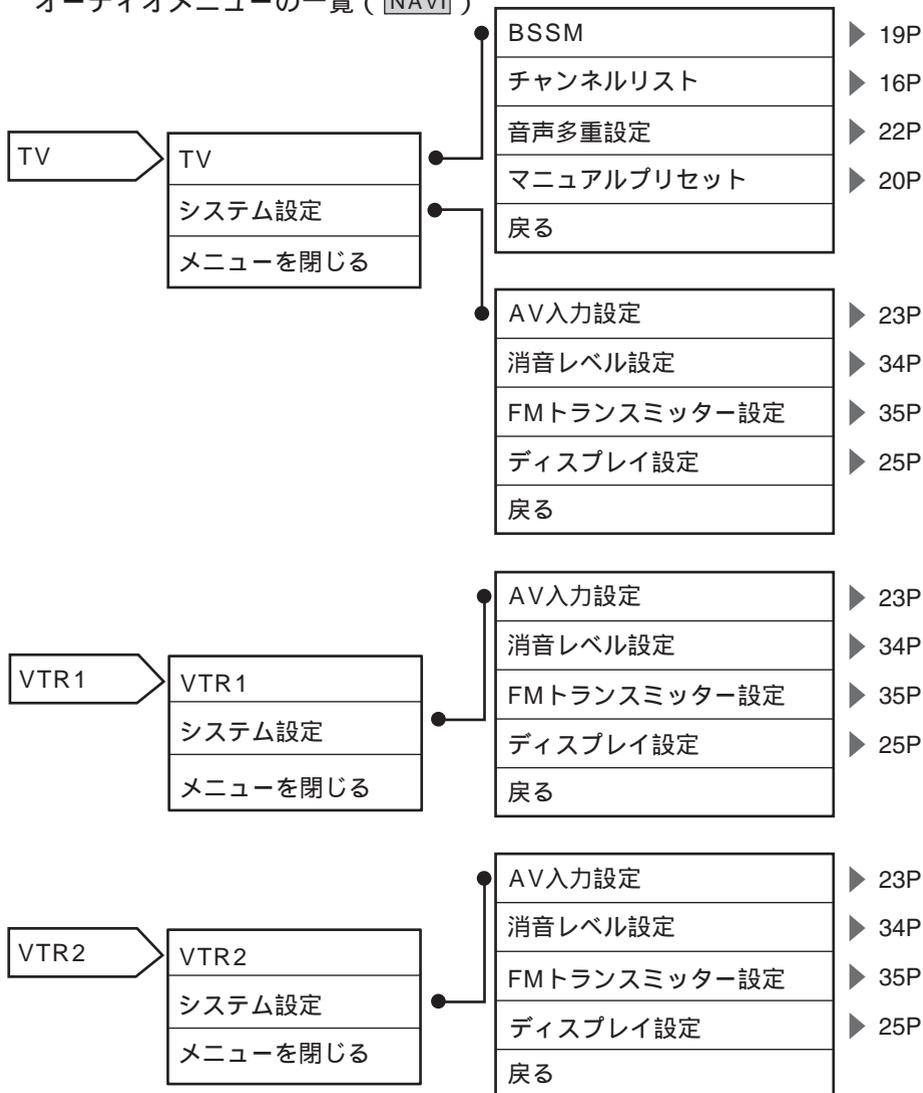
『取付説明書』の「接続・取り付け部品を確認する」に接続・取り付け部品の一覧表が記載されています。

メモ

- 仕様および外観は予告なく変更することがあります。またこの説明書中のイラストと実物が、一部異なることがあります。
- 本機は日本国内専用です。外国ではご利用いただけません。

索引

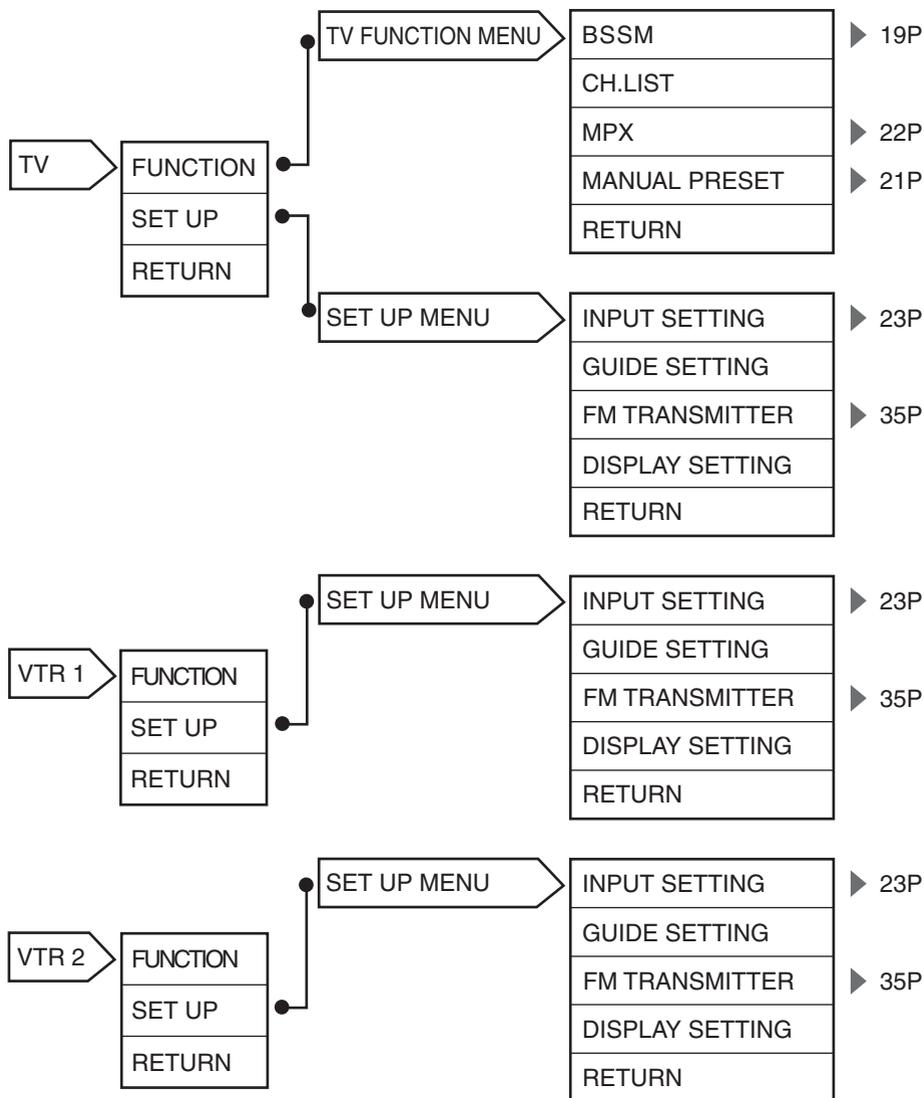
メニュー索引

オーディオメニューの一覧 (**NAVI**)

ミュージックサーバー、DVD、CD、MP3ディスクのメニュー画面については、ナビゲーション本体の取扱説明書『オーディオブック』を参照してください。

メニューを開くことはできません。

オーディオメニューの一覧 (TV)



メニューを開くことはできません。



この説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

ご購入後の製品の修理・取り扱いのご相談は、お買い求めの販売店へお問い合わせください

修理のご依頼は、取扱説明書の『故障かな?と思ったら』の項目をご確認のうえ、お買い求めの販売店へご依頼ください。取り付け・組み合わせなどのお問い合わせにつきましては、お買い求めの販売店へご相談・ご依頼ください。

下記窓口へのお問い合わせ時のご注意

市外局番「0070」で始まる☎フリーフォンおよび「0120」で始まる☎フリーダイヤルは、PHS、携帯電話、自動車電話、列車公衆電話、船舶電話、ピンク電話および海外からの国際電話ではご利用になれません。また、一般電話は携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。あらかじめご了承ください。

安全上のご注意

携帯電話などの走行中の使用などの禁止に関する規定が、改正道路交通法（法第71条第5号の5）にて施行されています。自動車または原動機付自転車（原付）からの、携帯電話などによる発信・応答・通話は、安全な場所に止めてからご利用ください。

製品のご購入や取り扱いについてのご相談窓口

カスタマーサポートセンター（全国共通フリーフォン）

受付 月曜～金曜 9:30～17:00、土曜 9:30～12:00、13:00～17:00（日曜・祝日・弊社休日は除く）

カーオーディオ/カーナビゲーション製品のご相談窓口 : ☎ **0070-800-8181-11**
03-5496-8016（一般電話）

カタログのご請求窓口 : ☎ **0070-800-8181-33**
ファックス : **03-3490-5718**

バイオニアホームページのご案内

商品に関する「よくあるお問い合わせ」FAQのご案内
カタログ請求とメールサービス登録のご案内

<http://www.pioneer.co.jp/support/faq/index.html>
<http://www.pioneer.co.jp/support/ctlg/index.html>

部品のご購入についてのご相談窓口

付属品（リモコン・取扱説明書など）のご購入に関するご相談については、部品受注センターにご相談ください。

部品受注センター（フリーダイヤル）

受付 月曜～金曜 9:30～18:00、土曜 9:30～12:00、13:00～17:00（日曜・祝日・弊社休日は除く）

電話 : ☎ **0120-5-81095**
0538-43-1161（一般電話）

ファックス : ☎ **0120-5-81096**

ご贈答品などの修理についてのご相談窓口

修理のお問い合わせは、取扱説明書の『故障かな?と思ったら』の項目をご確認のうえお問い合わせください。ご転居されたり、ご贈答品などで、お買い求めの販売店に修理のご依頼ができない場合は、下記の修理受付センターにご相談ください。

修理受付センター（沖縄県を除く全国）（フリーダイヤル）

受付 月曜～金曜 9:30～18:00、土曜 9:30～12:00、13:00～17:00（日曜・祝日・弊社休日は除く）

電話 : ☎ **0120-5-81028**
03-5496-2023（一般電話）

ファックス : ☎ **0120-5-81029**

沖縄サービスステーション（沖縄県のみ）

受付 月曜～金曜 9:30～18:00（土曜・日曜・祝日・弊社休日は除く）

電話 : **098-879-1910**（一般電話）
ファックス : **098-879-1352**

パイオニア株式会社

〒153-8654 東京都目黒区目黒 1-4-1

この説明書は、再生紙を使用しています。

©パイオニア株式会社 2003

< KKNEF/03D00001 > < CRA3486-A >